

農学研究科の学位授与の方針

佐賀大学大学院農学研究科の教育目的に沿った知識・技能を修得し、以下に示した学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を学位授与の方針とする。

この方針に従って教育課程を編成・実施し、佐賀大学大学院農学研究科履修細則に定められた所定の単位を修め、修士論文審査に合格した者に対して修士（農学）の学位を授与する。

1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。
2. 生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧科学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。
3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・団体・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる力を身につけている。

農学研究科の教育課程編成・実施の方針

教育目的

佐賀大学大学院農学研究科の教育目的は、科学技術が高度化・多様化・国際化する時代の中で、社会のニーズに応えられる人材、すなわち確固たる専門基礎知識に裏付けられた正しい価値観を基盤とし、冷静かつ柔軟な判断力・行動力を兼ね備えた創造性豊かな専門職業人になるべき人材を育成することである。

農学研究科唯一の専攻である生物資源科学専攻において育成する人材は、第1に、高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において能力を発揮できる専門職業人であり、第2に、生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧科学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を発揮できる高度な専門職業人であり、第3に、高度な農業技術と経営管理能力を有し、中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・団体・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる高度な専門職業人である。

教育課程の編成・実施

以上のような農学研究科の教育目的を達成するために、本農学研究科には、生物資源科学専攻の1専攻を置き、その中に5つの主コース（応用生物科学コース・生物環境保全学コース・資源循環生産学コース・生命機能科学コース・地域社会開発学コース）と1つの副コース（農業技術経営管理学コース）を設置する。

また、1単位制講義を基本とするサブ・セメスター制度を導入し、柔軟なクロス履修による専門横断的な知識の修得を可能とする教育課程を編成する。専攻共通科目として農学総合講義2単位を必修とし、基礎教育科目5科目（各1単位）から2単位を選択必修とすることにより、農学における基礎的で広い知識も修得できるように配慮する。

さらに、それぞれの主コースには教育研究分野を配置し、すべての学生はいずれかの教育研究分野に所属し、指導教員の指導のもとで特別研究（必修）を履修する体制を整える。

【応用生物科学コース】カリキュラムマップ

学位授与の方針	1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。	2. 生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧化学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。	3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる力を身につけている。	標準修得単位数
2年秋期B		特別研究	生物資源開発学演習Ⅱ 生物資源制御学演習Ⅱ 特別研究	12
2年秋期A		特別研究	生物資源開発学演習Ⅱ 生物資源制御学演習Ⅱ 特別研究	
2年春期B		特別研究	生物資源開発学演習Ⅱ 生物資源制御学演習Ⅱ 特別研究	
2年春期A		特別研究	生物資源開発学演習Ⅱ 生物資源制御学演習Ⅱ 特別研究	
1年秋期B		熱帯作物生理学特論 動物ゲノム情報学特論 動物繁殖生理学特論 植物代謝先端科学特論 園芸植物資源開発学特論 先端植物ウイルス病学特論 先端昆虫分子生物学特論 進化生態学特論 動物行動学特論 特別研究	生物資源開発学演習Ⅰ 生物資源制御学演習Ⅰ 特別研究	6
1年秋期A	作物生産学特論	熱帯作物改良学特論 動物資源開発学特論 動物発生学特論 植物機能学特論 蔬菜花卉園芸学特論 植物病学特論 昆虫分子生物学特論 システム生態学特論 動物行動生態学特論 特別研究	生物資源開発学演習Ⅰ 生物資源制御学演習Ⅰ 特別研究	3
1年春期B	農学総合講義 生物環境保全学特論 生命機能科学特論	熱帯資源植物利用学特論 植物系統分類学特論 果樹遺伝学特論 植物ゲノム育種学特論 植物感染病学特論 先端線虫科学特論 動物遺伝育種学特論 特別研究	生物資源開発学演習Ⅰ 生物資源制御学演習Ⅰ 特別研究	6
1年春期A	農学総合講義 応用生物科学特論	熱帯農業資源学特論 花卉園芸学特論 果樹育種学特論 植物分子遺伝学特論 植物病原学特論 線虫学特論 動物遺伝育種学特論 特別研究	生物資源開発学演習Ⅰ 生物資源制御学演習Ⅰ 特別研究	3

【生物環境保全学コース】カリキュラムマップ

学位授与の方針	1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。	2. 生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧化学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。	3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる力を身につけている。	標準修得単位数
2年秋期B		特別研究	特別研究	12
2年秋期A		特別研究	インターンシップⅠ インターンシップⅡ 特別研究	
2年春期B		特別研究	インターンシップⅠ インターンシップⅡ 特別研究	
2年春期A		特別研究	生物環境保全学特別演習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 特別研究	
1年秋期B		特別研究 先端地水学特論 応用水利学特論 土質工学特論 リモートセンシング工学特論	特別研究 生物環境保全学特別演習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	4
1年秋期A	作物生産学特論	特別研究 農地計画学特論 土壌物理学特論 浅海環境工学特論 生産地盤工学特論	特別研究 生物環境保全学特別演習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	4
1年春期B	農学総合講義 生物環境保全学特論	特別研究 水資源計画学特論 農地環境工学特論 先端環境分析化学特論 先端植物栄養調節学特論	特別研究 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	6
1年春期A	農学総合講義	特別研究 利水情報工学特論 環境分析化学特論 環境地盤学特論 植物環境調節学特論	特別研究 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	4

【資源循環生産学コース】カリキュラムマップ

学位授与の方針	1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。	2. 生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧化学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。	3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる力を身につけている。	標準修得単位数
2年秋期B			特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅱ	12
2年秋期A			特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅱ	
2年春期B			特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅱ	
2年春期A			特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅱ	
1年秋期B		家畜管理学特論 循環型農業生産学特論 作物生態学特論 応用遺伝資源学特論 農用先端機械学特論 微生物ゲノム情報工学特論	特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅰ	4
1年秋期A	作物生産学特論	植物遺伝資源学特論 家畜行動学特論 生体計測工学特論 生産生態学特論 発酵代謝学特論 生産システム工学特論	特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅰ	4
1年春期B	農学総合講義	インターンシップⅠ インターンシップⅡ 生産エンジニアリング特論 先端情報技術学特論	特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅰ	6
1年春期A	農学総合講義	施設農業生産学特論 生産情報処理学特論 生体情報科学特論	特別研究 資源循環生産学特別演習Ⅰ	4

【地域社会開発学コース】カリキュラムマップ

学位授与の方針	1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。	2. 生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧化学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。	3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる力を身につけている。	標準修得単位数
2年秋期B		特別研究	特別研究 地域社会開発学演習Ⅱ	12
2年秋期A		特別研究	特別研究 地域社会開発学演習Ⅱ	
2年春期B		特別研究	特別研究 地域社会開発学演習Ⅱ	
2年春期A		特別研究	特別研究 地域社会開発学演習Ⅱ	
1年秋期B		地域農業組織特論 アジア農村開発学特論 特別研究 地域資源開発学特論	特別研究 地域社会開発学演習Ⅰ	4
1年秋期A		農業政策学特論 農業経営学特論 特別研究 人類生態学特論	特別研究 地域社会開発学演習Ⅰ	4
1年春期B	農学総合講義	農産物市場流通特論 農村景観保全学特論 農村社会学特論 国際農村保健学特論 特別研究	特別研究 地域社会開発学演習Ⅰ インターンシップⅡ	6
1年春期A	農学総合講義 農業経済学特論	農村地理学特論 生態人類学特論 環境社会学特論 特別研究	特別研究 地域社会開発学演習Ⅰ	4

【生命機能科学コース】カリキュラムマップ

学位授与の方針	1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。	2. 生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧化学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。	3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる力を身につけている。	標準修得単位数	
2年秋期B	食糧科学演習または生命化学演習	特別研究		12	
2年秋期A	食糧科学演習または生命化学演習	特別研究			
2年春期B	食糧科学演習または生命化学演習	特別研究			
2年春期A	食糧科学演習または生命化学演習	特別研究			
1年秋期B	生命化学演習または食糧科学演習	特別研究 先端分析科学特論Ⅱ	糖鎖工学特論 食糧流通貯蔵学特論		4
1年秋期A	生命化学演習または食糧科学演習	特別研究 先端分析科学特論Ⅱ	食品化学特論		4
1年春期B	農学総合講義 生命化学演習または食糧科学演習	特別研究 生命機能科学特論 先端分析科学特論Ⅰ	インターンシップⅠ タンパク質科学特論 微生物学特論	6	
1年春期A	農学総合講義 生命化学演習または食糧科学演習	特別研究 応用生物科学特論 先端分析科学特論Ⅰ	生化学特論 応用微生物学特論	4	